

中新川郡中教研 研究計画

会 長 鹿 熊 康 成
 会員数 80 名

1 本年度研究の基本方針

「生きる力」を育むことをねらいとして、各教科、特別の教科 道徳、特別活動等の特質を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を重視した上で、思考力、判断力、表現力等の育成を図るとともに、個性を生かし主体的に課題を追究し、持続可能な社会の創り手となる生徒を育てる教育活動の在り方を研究する。

主題の解明を図るために、研究主題と研究内容（P）、授業研究と研究発表（D）、学力調査等（S）のトライアングルの関係を重視し、「令和の日本型学校教育」の理念に則して研究を推進する。

- (1) 指導内容を小・中・高等学校一貫の立場から見通し、相互の関連を図りながら系統的・発展的な指導に努める。
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付くよう、個に応じた指導の充実を図る指導計画、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。
- (3) 生徒の自主的・自発的な学習活動を促し、考えを深め合い、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学び方が身に付く指導計画、指導方法の改善に努める。
- (4) 指導計画や指導方法の改善に生かすため、学習の過程や成果を評価規準に基づいて評価し、指導と評価の一体化に努める。
- (5) 研究の成果を振り返り、日常の教育実践に生かすことができる研究の継続と累積に努める。

2 部会構成と研究主題

番号	部会名	部員数	研究主題
1	国語	10	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語の資質・能力を育てる指導と評価はどうあればよいか。 —身に付けさせたい資質・能力を明確化した授業づくりと指導に生かす評価—
2	社会	9	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるには、どのようにすればよいか。 —「課題を追究したり解決したりする活動」の工夫—
3	数学	12	数学的に考える資質・能力を育成するために、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善はどうあればよいか。
4	理科	12	理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 —生徒自らが課題の解決に向けて、観察・実験の結果を分析・解釈し、探究の過程の見通しと振り返りを繰り返して課題に正対した考察・推論をすることを目指す指導の工夫—
5	音楽	3	幅広い音楽活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 —授業改善のための「指導と評価の一体化」—
6	美術	2	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習活動はどうあればよいか。 —資質・能力を育成するための〔共通事項〕の指導の在り方—

7	保健体育	8	体育や保健の課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現を目指そうとする生徒を育てるための学習指導はどうあればよいか。 —「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」—
8	技術	2	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 —生活や社会にいかすための問題解決的な学習の充実—
9	家庭	2	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 —生活や社会にいかすための問題解決的な学習の充実—
10	英語	16	コミュニケーション能力を養うにはどのように指導したらよいか。 —聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して—
11	道徳	7 (重複)	主として集団や社会との関わりに関する道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める道徳科の授業はどうあればよいか。 —「考え、議論する道徳」に向けた場の工夫—
12	特別活動	7 (重複)	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 —話し合い活動を通して合意形成や意思決定し、粘り強く実践できる生徒の育成を目指して—
13	特別支援	12 (重複11)	特別な支援を必要とする生徒の能力や可能性を伸ばし、自立と社会参加を推進する指導はどうあればよいか。 —生徒一人一人の実態に応じ、興味・関心や意欲を高める学習過程の工夫—
14	保健	3	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む資質・能力を育てる健康教育はどのようにすればよいか。 —生徒が心身の健康について理解を深め、主体的に健康な生活を実践するための指導の工夫—

3 年間計画の概要

月	会合名	会場	内容
4	理事会・部長会、総会 教科・領域部会	雄山中	事業・予算・役員選出 研究主題・年間計画立案
5	教科・領域部会	各会場	主題解明のための研究協議
9、10	第69回研究大会	各会場	授業研究、研究発表と協議等
1	理事会・部長会 教科・領域部会	雄山中	本年度のまとめと反省 次年度の研究計画
3	研究収録発刊		

4 留意事項

- (1) 県教委の「幼・小・中学校教育指導の重点」を活用する。
- (2) 共同研究の課題については、個人研究を生かすように配慮し、組織的な研究を推進する。
- (3) 学習指導要領の基本的なねらいや基本的な考え方を踏まえて研究活動を推進する。
- (4) 県中教研の課題を踏まえ、実践研究を進める。
- (5) 研究諸団体、諸機関との連携を密接にし、研究を深める。